

8月  
2023年

161号

地域共創・未来共創の大学へ

# 広 沖縄大学 報

OKINAWA UNIVERSITY

発行

沖縄大学経営企画室  
〒902-8521 沖縄県那覇市字国場555  
☎ 098(832) 2910  
<http://www.okinawa-u.ac.jp>

## 沖縄大学は 創立65周年を迎えました!

沖縄大学は米軍統治下の1958年、教育の機会均等を目指した嘉数昇先生によって創設され、今年で65周年となります。日本復帰の際に、廃校の危機に瀕しましたが、県民の支援により存続を勝ち取り、県内で最も歴史ある私立大学として今日を迎えた沖縄大学は「地域共創」が創立当初からの変わらない理念です。昨年度は健康長寿日本一を県とともに作り上げていくべく沖縄で唯一の管理栄養士、第一種栄養教諭を養成する健康栄養学部の初の卒業生を輩出、司法試験ストレート合格を果たした卒業生、プロ野球ドラフト1位指名の仲地礼亜さんなど、素晴らしい学生たちを育てることができる大学に成長しています。

今年は、70周年を展望した長期ビジョン「地域がキャンパス、地域のキャンパス」の実現に向けて取り組んだ第五次中期計画が終了し、来年からスタートする第六次中期計画につなげていく重要な節目でもあります。

地域に根ざし慕われる大学として、今後も地域社会、そして世界を舞台に活躍できる人材育成に取り組んでまいります。

(学長 山代寛)





## サッカー部

### 九州大学サッカーリーグ 1部昇格を目指して



個々に能力が高い選手が多く、他チームから  
も一目置かれている沖大サッカー部。7月2  
日のリーグ戦では3対2で名城大学に勝利し、  
前期リーグ戦最終戦を白星で締めた。泉川光  
(MF)、益田玲音 (MF)、平真桜 (DF) が攻  
撃力の要、他者から奪われないドリブルを中  
心に攻撃を回していく。試合中も声を掛け合  
いチームの士気を高め、明るいチームをなお、  
ムードメーカーの中村瑠来 (GK) がまとめる。  
県外の強豪高校から進学し入部した選手も少  
なく、細かい技術面を共有し、技能を高  
めている。

キャプテン曰く、プロに近い選手もいる。

9月30日からは後期のリーグ戦がスタート、普段はアネックスグ  
ラウンドでの練習だが週に1日はディフェンスラインの動きの確認の  
ため沖縄市のグラウンドまで行っている練習。短時間だけれど集中した  
練習を熟す。

#### キャプテンコメント

[経法商学科3年] 山内 琉生

高校から大学になるにつれてレベルが一気に  
あがります。スピード感パワーが違うだけで  
なく技術も高く試合は見応えがあります。リーグ  
戦は1試合1試合が重要で、勝たなければ降格  
や来年の試合数等に影響が出るので必死です。  
応援は力になります。1部昇格を目指す私達の  
試合、是非観に来てください。



## 水球部

### 今年も全国へ



創部5年目、7月に熊本で開催された九州  
インカレでは2戦全勝し、2年連続の全国大  
会出場を決めた水球部。

攻撃の主体は1年生、その元気で成功率を  
支える上級生とのバランスが強さにつながっている。足がつかないプ  
ールで個々のパフォーマンス力が求められる競技は、スピード感、攻防の  
速さが魅力。1試合で約2キロ泳ぐといい、体重も約2キロ落ちるそう  
だ。県内の大学では唯一の水球部、大会のほとんどは九州で開催される。  
競技人口が少ないのでまずはメンバー集めにと部員は奮闘している。

全日本インカレは9月1日～3日まで横浜で開催。全員で1戦1戦  
を大事に、上位入賞を目指す。

#### キャプテンコメント

[福祉文化学科4年] 仲村 俊輝

県内では試合がないので観戦のハードルが高  
い競技ではありますが、面白さとオリジナリ  
ティーある競技。是非、部員に話をきいたりし  
て水球のことを知ってほしいです。

県内の水球の発展に貢献していきたいです  
し、そのためにも試合で結果を残して認知度を  
上げていきたいです。



## 沖縄大学 指定強化部が

# 熱心

日本中が盛り上がった

2022年サッカーワールドカップ、  
2023年WBC。

沖縄では琉球ゴールデンキングスが  
悲願の日本一を手にしたことは  
記憶に新しいところ・・・。

本学指定強化部も熱く、  
負けられない戦いに挑んでいる。

「仲間といままでない挑戦を！」

指定強化部6チームの  
今を紹介します！



## 空手道部

### 全国で闘える選手揃う



4月に開催された第47  
回沖縄県学生空手道選  
手権大会では、男子個  
人型で優勝 (川村真太  
郎)、3位入賞 (平安名翔太)、女子個人型で3位 (仲本青空)、男子個人  
組手で3位 (嘉数明斗) と、沖縄大学の名を轟かせ続けているのが  
伝統ある空手道部だ。自主性を重んじ、個人で考えて動くことを大事  
にしている。主将の嘉数明斗選手は、沖縄尚学高校出身で外部コーチ  
として母校に関わり、練習も合同で行うことも少なくない。それにより、  
県内外で活躍した指導者たちの助言を多くもらい練習に生かすことが  
できると話す。自分の課題は自分が一番わかっている、そこに向かっ  
て練習あるのみだ。

形や組手にわかれそれぞれで練習を行うので、部員10人がそろ  
うのは大会のときのみ。ひとまわり強くなった仲間たちが日々ライバル  
でもある。10月に行われる全九州大会では上位入賞を目指し、目標は  
日本一を掲げて一戦一戦を大事に戦う。

形や組手にわかれそれぞれで練習を行うので、部員10人がそろ  
うのは大会のときのみ。ひとまわり強くなった仲間たちが日々ライバル  
でもある。10月に行われる全九州大会では上位入賞を目指し、目標は  
日本一を掲げて一戦一戦を大事に戦う。

#### キャプテンコメント

[経法商学科4年次] 嘉数 明斗

空手の魅力は人間形成にある、「礼にはじま  
り、礼におわる」自然に身に付いてきたもの。  
空手は生活の一部で人生をかえたもの、それが  
競技の醍醐味かもしれません。

私の種目、組手は0.1秒の世界で争うもの  
です。0.1秒の駆け引きがあり、気を抜いたらそ  
こで終わってしまう。緊迫した試合展開を是非  
観ていただけたらと思います。





陸上競技部

全国大会出場選手誕生、  
成長著しい陸上競技部



昨年男子 1500m で  
全国大会へ出場を決め



陸上競技部。今年も各種目で上位入賞を決め、着実に全国へと駒を進めている。(男子 400 m リレーでは県選手権 1 位 (九州インカレ 4 位)、男子 100 m 3 位、女子 3000m SC 2 位等)

わずかな数字の差、1/100 秒差を争う陸上の世界、自分自身の目標タイムに向けて何年もかけて練習をするためメンタルの維持が鍵になる競技ともいえる。そして他の競技とは違って予選に全選手が出場でき、みんなが挑戦できることが魅力のスポーツだ。

練習は南風原町の陸上競技場で行い、ハードな練習を重ねていく。練習が大好きな選手が多く、どの部活よりも仲良く、楽しい部だとキャプテンの長濱は自負している。長濱は宮古総合実業高校から沖縄大学に入学、高校時代は一人で練習することが多かったことから、いま、30 人の仲間と日々切磋琢磨できる環境がとても良いとも話す。

個人競技での個々の頑張りがありリレー等の団体種目でも好タイムを出し、結果、沖縄から全国へと、カタチが創られてきている。

キャプテンコメント

[福祉文化学科 3 年] 長濱 瑠希斗

他の競技と比べたら競技時間がとても短いものの、ただ、その一瞬に込めた選手たちの熱量は他の競技とは大いに違って、見応えがあるものだと感じています。観ている人もその瞬間瞬間に魅力を感じてもらえるのではないかと。競技場では大型スクリーンで投影され、実況アナウンスも行われています。是非競技場へ応援にきてほしいです。Instagram 等で発信もしています。結果が出せたら認知度も上がると思うので頑張っていきたいです！



各部の主将たちは「自己の課題設定そして実践していく、そこに大学で部活をやる意義がある」と話す。また好きなことを見つけ、向き合い続けることの価値は、誰かにとっての喜び、幸せにつながる可能性を秘めたものではないかと。沖縄大学でスポーツを応援する人たちの増やしていけたらとの想いを話してくれた。

監督たちが口を揃えていうのは「大学で部活をやる意義は人間力の育成。大学 4 年間、競技に打ち込んだことはとても意味がある」。沖縄大学指定強化部は、練習内容や運営面でも選手主体、自らが考え行動しないとイケない。選手の自主性を重んじる部活ばかりである。しかし、日々、コート・グラウンドでは選手と一緒に戦う監督たちの姿があった。

スポーツを観ると熱い気持ちや勇気、活力をもらうことができる。そして選手の手力だけでなくサポーターがひとつになったときにつかめるものがある！ さあ、沖大スポーツを応援し、今しかないこの時と一緒に、情熱を注いでみませんか。

男子バスケット  
ボール部

九州大学リーグ1部昇格を  
目指して



今年度九州大学リーグ 2 部に降格し、入れ替え戦に向けてメンバー全員が試合へ熱い想いで挑んでいる。県内の強豪高校で頑張ってきた選手が多く、その経験をチーム全員で共有しレベルの高さを維持している。全国的みると身長が劣るので、そこをカバーできるようにと走り込みを強化し、スピーディーな試合展開にもっていけるように心がけている。6月25日に開催された第30回沖縄県大学バスケットボール選手権大会では、4戦全勝で優勝を果たした。9月から始まる九州リーグでも全勝を目指し、1部昇格を目指す。

キャプテンコメント

[国際コミュニケーション学科 4 年] 城間 祥希

バスケの魅力はゲーム展開が速く、たくさん点が獲れ、観ていて飽きないところ。私達は走るバスケを目標としていて、観ている人を魅了するチームだと自負しています。是非、応援に来てほしいです。



硬式野球部

人間力の向上を第一に、個々の  
自主性を日々の練習に活かす！



開学翌年の 1959 年の創部、今年で 64 年目の伝統ある野球部は、一昨年 (2021 年) 念願であった全日本大学野球選手権大会に初出場、昨年の春の大会でも 3 点差を逆転するなど、粘り強く強豪相手に引けを取らない試合運びが魅力のチーム。昨年ドラフト 1 位で中日ドラゴンズに入団を決めた仲地礼亜選手や社会人野球チーム等、全国で戦い続ける OB の活躍なども目覚ましい。例年、甲子園出場経験を持つ選手が入部し、技術面や行動面も学びを広げていて、高い目標を持ち日々練習を重ねている。現在は 3 年生 10 人がチームを引っ張り、指導陣も新体制のなか、キャプテンを中心に選手ひとりひとりが練習内容を日々考え、挑戦を続け、現在は秋の大会へ向け、調整をはじめている。

キャプテンコメント

[経法商学科 3 年次] 仲宗根 凷大

秋の大会では九州の上位チームとの対戦から多くを学び、春の神宮へとつなげていきたいです。バッティングを強化し、投手陣を野手が支えることで 1 勝ずつ勝ち、結果を残していきます。仲地礼亜選手や先輩たちに続けるよう、日々頑張っていますので是非、球場に応援にきてほしいです。





富名腰 真希 さん

島田 尚徳 先生

1981年2月3日生まれ  
出身校:球陽高校、千葉大学。

2005年4月:(株)沖縄タイムス入社(～2008年2月)  
2008年4月:琉球大学 大学院 博士後期課程 進学  
2010年9月:(株)海邦総研 入社  
2019年4月:沖縄大学 入職

略歴

不定期連載

第1回

# わたしの先生、紹介します!

第一回目は、経法商学科4年次の富名腰真希さんが島田尚徳先生を紹介します。



ただ、早朝から夜中まで取材や記事制作に追われていて、当時は夢の中にも仕事のことが出てきて、寝ても休んだ気にならない毎日でした。仕事自体は楽しかったのですがこのままの生活では、自分の

**富名腰(以下富)**—どんな学生だったか、教えてください。

**島田尚徳先生(以下島)**—小学校5年から高校までサッカー部に所属していました。ポジションはディフェンダーでした。高校時代は、ジャーナリストを志したこともありましたが、明確に将来の夢は定まっていませんでした。

**富**—大学ではどのように過ごされましたか?

**島**—大学2年生ごろまでは千葉から都内(渋谷や新宿)に遊びにいたりする「典型的な」大学生活を送っていました。3年生からはゼミが必修だったので行政学や地方自治論が専門の先生のゼミをなんとなく選択しました。しかし、ゼミでの議論などを通して学問のおもしろさに目覚め大学院へ進学することを決めました。大学院(修士課程)では琉球政府の公務員制度について研究をしましたが、博士課程に進学はせず就職することにしました。大手メディアやシンクタンクなどを受けましたがどれもダメでした。その後、県内で就職活動を行い沖縄タイムス社からのみ内定をいただき、2005年4月、同社に入社しました。

**富**—沖縄タイムスで働いていた時の話を教えてください。

**島**—沖縄タイムスでは編集局政経部で県政担当の記者をしていました。主に労働問題に関連する取材を行っていました。この取材経験が、沖縄の労働問題について、現在まで関心を持ち続けるきっかけとなりました。

## インタビューを行っての感想

今回、島田先生へインタビューを行って他の人の人生を聞くということが結構面白いことだと感じた。自分とは全く違う考えや生き方を聞くことで自分自身の視野も少し広がったように感じた。



また、世代が違う人に話を聞くことで自分たちの学生時代とその人が学生だった頃の違いなども知ることができてとても興味深かった。

## 編集者より!

突如としてはじめてみたこの企画・・・、きっかけは共通科目「歴史のみかた」で出されたレポート課題でした。ゼミの担当教員の先生を紹介している学生が複数いるとの情報を得て、企画化してみました。不定期で連載していきますのでお楽しみに。

体力が持たないと感じたため2008年2月に沖縄タイムス社を退社しました。

**富**—沖縄タイムスを辞めた後はどのようなことをしていたのですか?

**島**—2008年4月より琉球大学大学院の博士課程に進学しました。入学後は附属図書館でアルバイトをしながら、琉球政府についての研究を行っていました。2009年に長男が生まれ、子育てを行なっていく中で、貯金がどんどんなくなっていき今後の生活に危機感を覚え、就職しようと考え、沖縄海邦銀行の関連会社のシンクタンクである海邦総研が研究員を募集していたことから応募したところ採用され、2010年9月から働くことになりました。

**富**—なぜ、シンクタンクから大学教員になろうと考えたのですか?

**島**—シンクタンクでのさまざまな調査や自治体の政策立案をサポートする業務はとても楽しかった一方、調査をしていく中で、沖縄の構造的な問題についても関心を持つようになっていきました。また、40歳を目前にして、シンクタンクも体力が必要なため今後のキャリアについて考えていました。そうした中、沖縄大学の公募に応募したところ運良く採用

され、2019年4月から教員として勤務し、今に至ります。

**富**—大学教員になって大変だと感じた点はどのような点ですか?また、教員になってからどのようなことを行なっていますか?

**島**—講義の準備が大変でした。特に2020年からはコロナもあったので試行錯誤の毎日でした。2022年に『季刊労働法』という雑誌に「沖縄振興計画と本土「復帰」50年の労働環境の変化と特質」という論文を執筆しました。同論文は、記者時代に労働問題を担当していたところから関心のあったテーマを、これまでの研究成果を参考にしつつ執筆しました。論文内では沖縄をひとつのかたまりとして分析していますが、沖縄でも地域ごとに異なった課題が存在しています。その地域ごとの違いについてゼミ等で、調査研究しています。

**富**—今日は貴重なお話を聞かせていただきありがとうございます。





## 講義 「青年期のこころの発達」 特攻隊だった祖父から学んだこと

7月18日、福祉文化学科吉川麻衣子先生担当の「青年期のこころの発達」講義では、同学科4年次の河辺奈々子さんがスペシャル講師として登壇し、特攻隊だった祖父から学んだことと題して「自分や自分のルーツ」を考え感じたことについてお話をしました。

講義では、「特攻作戦のなかで祖父がどのような気持ちでいたのか」、同世代で特攻隊になった祖父の気持ちや心理面について掘り下げて、お話をしていました。祖父が祈ったであろう「生きたい」という気持ち、その4文字に自分の人生のすべてがぎゅっと詰まっていると感じていること、そして今の時代を生きる多くの人に繋がるメッセージだと語ったほか、自分らしい生き方をずっと模索していた河辺さんが祖父のことを調べていき、祖父の人生が今では人生の道しるべになっているとも話してくれました。



私は現在、特攻隊だった祖父のルーツを調べてそこで感じたことや考えたこと、祖父がどのように戦中戦後を生き抜いてきたかを書籍に残そうと取り組んでいます。

戦争について考えることは私にとって日常の一部でした。父は、私が物心つく頃から戦争の話をしてくれたり、沖縄や広島をはじめその他様々な戦跡に連れて行ってくれました。特に沖縄には毎年一回足を運び、様々なガマに行き県内各地で起こった戦中戦後の話をたくさん聞いてきました。

沖縄の大学に進学した理由のひとつには沖縄に住んでこそ新たに戦争のことについて何か学べるのではないかと考えたからです。

祖父のことについて調べようと思ったきっかけは、実は特にありません。小さい頃から祖父が特攻隊だったことは知っていましたが、詳しくは



聞いていませんでした。2022年の7月、突然祖父のことについて調べたくなり思いつきで飛行機のチケットを取って姉と鹿児島県の知覧に行きました。父にも祖父について詳しく聞き、

知覧の資料館で無くなった特攻隊員と祖父の姿を重ねながら見ていろうなことを感じました。事実を知ると同時に、自分が今生きていることやたくさんの人と出会えたこと、不自由なく楽しく生きていることがどんなに尊くてどんなに奇跡なんだろうと感じました。その時感じたことは、何かに残さなければきっと忘れてしまうし、年をとっても同じように感じるかと言われたらきっとそうではないと思います。だから、本にして将来の自分や子、またその孫に残したいと思いつくような取り組みを始めました。

また、特攻隊だった祖父と同じ年齢である今、やることに意味があると思います。戦争から興味や関心が離れつつある同年代の人たちや周りの友達にもこの話を届け、私がいろんなことを感じたようにそれぞれ何か感じてもらえたらいいなと思うのでもっともっと伝えていけるように努力したいです。



【福祉文化学科4年次】河辺 菜々子

## 研究のひろば

### たかがスポーツ

研究で多くのエネルギーを要するのが、テーマを決める段階である。自身が関心のある社会課題や現象がターゲットになるのだが、つきつめると、なぜそこに私の関心があるのかと自身に問う作業でもあるからだ。

はじめて研究に触れたのが、学部生時代だった。当時、大学卒業後に青年海外協力隊として海外に行こうと考えていたが、隊員がどのような条件で任地に赴き、帰国後どのように仕事に復帰されているのかについての情報がほとんどない時代だった。特に帰国後の状況は私自身が最も知りたかったことであった。そこですでに帰国された隊員の方々に連絡し実態調査を行った。2年間かけてまとめたが、調査中に、調査協力者である元隊員の方から「このような調査はとても貴重です。頑張って仕上げてください」との励ましのお手紙を頂いたことは、研究の社会的意義を感じることができた出来事であった。

次は、院生時代の修士論文の執筆になる。スポーツ心理学の研究室仲間と本格的に研究のノウハウを学んでいった。その頃から私の関心は、多くのスポーツ選手が口にする「スポーツをすることで成長した」という概念だった。成長とは何か？どのようなプロセスを経てそう感じるのか？実は、これを検証することはとても難しい。多くの研究者も関心を寄せる古典的テーマだということは後で知った。競技での卓越を目指す過程とは、身体との対話を繰り返すことでできなかった動きを獲得していくプロセスである。とことん身体と向き合わざるを得ないのだが、そこでどのような対話をしているかがキーになると考えていた。プロスポーツ選手へのインタビューデータを分析することで、その一端にふれてみようと思いたが、自然科学の研究者からは「それは研究ではない」とのご批判も受けた。

現在も、スポーツの価値を検証したいという思いは変わっていない。きっと、これまで私の人生を豊かにしてくれたと実感している「たかがスポーツ」に価値があるのだということを実証したいと願っているからなのだと思う。



福祉文化学科 健康スポーツ福祉専攻 准教授  
石原 端子

卒業生の活躍を紹介！

# あの人はいま

卒業生の活躍を紹介する企画『あの人はいま』。今回は1994年3月に卒業し、県内の笑い界を牽引する、山城智二さんをご紹介します。

山城さんは現在、兄で初代FEC代表の故山城達樹さんの生涯を巡るドキュメンタリー映画を制作中です。

沖縄大学がFECのルーツとなっていると話す山城さんの学生時代や沖縄の笑い界についてのごと、将来の展望等、お話を伺いました。

## ■大学時代について

大学進学は明確な目標があったわけではなく、大学に進んでからなにかやりたいことを探せたらと考えていて、沖縄大学に上りの兄が通っていたので、県内で大学入行くなら沖縄大学だなという感じで進学を決めました。最初は2部の英語科だったのですが、転学科をして経済を学べる学科に所属しました。部活動では、陸上部の中長距離選手だったので、週に3日は30キロくらいを走っていました。キツかったけど楽しかったです。



い活動、そして一番の思い出が中国大陸3000キロの旅です(当時の広報誌にも寄稿)。

復帰20年の年に県と沖縄タイムスが企画した派遣の旅なのですが、遣唐使が歩いてきた道をたどるといふテーマで2か月かけて朝から晩まで歩くというもので、旅行とは全く違って、1時間歩いたら10分休憩、それを朝7時から19時まで...という苦しい旅をしたんです。1200~1300人の若者が4行程に分かれ2か月歩き続けるわけです。なんでこんなものに申し込んだんだろうと後悔もしましたが、その時の団体行動が、人の気持ちを思いやれるようになったり、相手の立場でものを考えるようになったりと気持ちの面でもとても成長できたと思います。仲間と一緒になにかをやりあげるといふ今の動きに強み繋がっています。

## ■プロのお笑い芸人の道へ

中国から戻ってから感じたのは、同世代の中国人はかなり勉強しているなということ。なのでこのままではいけないと、勉強をしなければ、と1ヶ月くらいは勉強していたんですが、でもやはりお笑いが楽しいなとなり、お笑い芸人の道に進みました。両親も自由にさせてくれるタイプなので応援してくれました。

1993年4月にFEC(フリーエンジョイカンパニー・自由楽しく集う)事務所設立、96年に兄が急に亡くなりました。前の口まは元気があったのに、それで私が事務所を引き継ぎました。兄が残したものを守りたいという心でした。

事務所設立からたった3年だったんですが、兄がかなりの基礎を築き上げていたので、それを踏まえながらやり続けてきた感じです。途中、それだけでは進歩がない

ので私らしいやり方をプラスしながら時代に合わせて進化する形でやってきました。

## ■現在のお仕事について

2009年に吉本沖縄ができ、飲み込まれてしまつたのではないかと不安にかられたこともあったんですが、よしもとは全国のお笑い、FECは地元根差した沖縄の人に笑ってもらえるお笑いを創るといふ遠く方向性をもっていたので、差別化が図れていて、上手いことやれている状況です。

現在は事務所の代表として手掛けている仕事が多くあり、お笑い芸人としては年に数回舞台に立つ感じですよ。

私は、ただお笑いをやりたいという事ではなく、未開発の地である沖縄でお笑いをやり、確立する」という事を30代に明確に意識できたことでやりがいも見だせました。

新しいコロナウイルスの流行がはじまった2020年、徐々に仕事がなくなり、3月末にはゼロとなりお笑い界はとてつもない状況に陥りました。ふさぎ込むメンバーもいましたが舞台に代わる表現の場としてスタジオを作りネット配信をはじめたり、芸人のスキルを使って他の業種の仕事をスタートさせたり、芸人バスター



なる楽しもつという気質があると思っています。



広報誌 掲載記事 (1995年発行 第64号)





9月8日からスターシアーズで  
沖縄先行上映。

### ■今後の夢について

9月から順次、県内外で映画が上映されますが、「沖縄の笑い」を全国や世界に知らしめていきたいと感じています。映画とお笑いをセットにして、映画を見たお

客さんが今の沖縄の笑いに触れることができるようなイベントも同時開催できないかと考えています。  
また、FECフェスといいますが、お笑いと美味しいものを楽しめる場づくりを手掛けていきたいです。  
そういう意味で沖縄を力チャールして（かき混ぜて）いきたいなと思っています。

### ■沖縄大学について

今回の映画のロケでは、大学にも久しぶりに伺いました。私達の古巣であるサークル棟は無くなっていますが、思い出深い場所も多々あり懐かしく思いました。ミニシアター等、趣があり良い場所ですね。

これからは同窓会にも顔を出していただくと考えています。沖縄大学がFECの原点、ルーツなので、私ができることは関わっていただくとお思っています。

### 山城智二さんとは 旧友の大成学生部長 からのコメント

彼との出会いは大学4年の時に自分たちの卒業を自分たちで盛り上げようと卒業パーティー実行委員会が組織されることになり、そこで知り合いました。

知り合った頃はすでにサークル活動というよりもプロ芸人という意識を持っていて、彼は将来、お笑い芸人として確立することを夢見ていました。

彼は、よく図書館で笑いの「ネタ」を考えていたんです。私は、その横からお笑い芸人を笑わせようと躍起になってネタを被せたりして、結果的によく彼の邪魔をしていましたね。楽しかった思い出のひとつです。

2017年優秀俳優賞を受賞した時は、同僚のお笑い芸人を引き連れてお祝いの乾杯をしましたよ。

今回の映画製作も上映を楽しみにしています。

沖縄を代表する芸人、役者になってほしいです。今後、益々の活躍を期待しています！

(学生部長 大城貴之)



経法商学部 経法商学科  
教授  
若林 千代



### 学ぶことは楽しい

私は現在、経法商学科の問題発見演習Ⅰ、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、専門演習a・b、そして専門演習c・dのゼミを担当しています。以前は夜間のゼミを担当していたことに加えて、この数年、大学院や学部、研究所の運営の仕事に携わり、また、21年度に学外研究を取得した関係で、問題発見演習以外のゼミを担当していませんでした。しかし、学外研究から戻った昨年より再び2年次以上のゼミも担当することになり、沖縄大学に着任して15年目となる今年、久しぶりに学部の4学年すべての演習科目を開講しています。

ゼミでは、基本的に、沖縄近現代史や国際関係史、世界史にかかわる事柄に焦点を当てています。前期には、リサーチ・スキルを磨いてもらうため、個人の研究をまとめています。受講生の皆さんは、沖縄戦や米軍占領下の歴史はもちろん、古琉球の歴史、沖縄の芸術や建築、ヒップホップ、産業や開発に関する歴史、また、基地がもたらす人権問題、自衛隊問題、ジェンダー・セクシュアリティ、食糧問題、労働問題、環境問題、ウクライナ問題、脱植民地化の歴史等、多様なテーマを選んでいきます。研究発表を通じて、受講生の方々が互いに学び合う機会を作りたいと思っています。後期には、経法

商学科のゼミナール大会等为目标に、さらにグループ・ワークができるのではないかと考えています。

3年余りのコロナ禍で、フィールドワークにはブレーキがかかっていましたが、最近は、感染防止に気を配りながら、できるだけ地域に出かけ、とくにこの数年は芸術作品の鑑賞を多く取り入れています。昨年度は、那覇文化芸術劇場なは一とでの『喜劇人類館』の公演を観ました。経法商学科では社会科学を中心に学びますが、目に見えない感情や言葉にするのが難しい戦争記憶については、造形や演劇、美術の表現の方が理解を助けてくれることがあります。受講生の方々の新鮮な反応や言葉は、私自身の刺激にもなっています。

教師としては未熟ですが、「学ぶことは楽しい」と思ってもらえるよう、工夫を重ねていきたいと思っています。



2023年4月21日南城美術館「新垣安雄展—証言者—」にて



# 沖大の魅力を迫る

# 沖大散策 vol.10

## 「オキナワダイダクにバンクシーあらわる？」

沖縄大学にある貴重なモノやアート作品を紹介する企画「沖大散策」、今回は経法商学科3年次の学生が見つけたあるものを紹介します。

※(曲:エイリアンBGM「The X Files」を頭に思い浮かべてお読みください)◆



「施設課に聞きに行くと、学生支援課に行けばわかると思います。」(施設課・金城慎介さん)

「知らない」と多くの人は気づいていない様子。

そこにあっただのはかなりリアルなクラスの絵です。3人は通りすがりの職員に聞きますが、「え？なにそんなのがあるの？」



「あれなに？」とある日のこと。沖縄大学本館の1階で学生3人がなにかに気づきました。



「絵というところ、これのこと？」(学生部長・大城貴之さん)

「あれはなんですか？」



みなさま、ここまで読んで頂きありがとうございます。なんてことはないじゃないか、



「毎朝、ハトの糞の片付けに苦慮していて、リアルなクラスのイラストを探し、拡大コピーをして貼ったんだよ。」他にも同様に悩んでいた本学職員の実家にも貼ったところ、効果はてきめん、その後ハトの糞被害はなくなったそうです。♪チャンチャン!



もしこのイラストが欲しいという方は経営企画室まで！(先着3名様にお渡しします。)



バンクシーなんて大げさななって思ったかもしれませんが、研究や学びに気づきはとも大切で、学生さんの気づき、そして普段は話すことのない職員との交流も生まれた散策でした。

三人は歴史を学ぶゼミに所属していて身近な史跡めぐりなども行っています。

今回は3人の出身地、豊見城の史跡について紹介してもらいます。

### 1. 自己紹介&はじめに



私、金城愛と私のお友達の大城こなつさんと大額花林さんは豊見城市出身です。

小町の「T」はTOMIGUSUKUの



歴史大好き花林がヒバンムイを見て興奮している様子。



まず、最初に訪れた史跡は、海軍壕公園にあるヒバンムイ(火番原)です。

2.ヒバンムイ

そんな下小町が頑張っています。た史跡を紹介していききたいと思います。

ヒバンムイとは「火を焚く丘」という意味で、ヒバンムイがある場所は高台になっていて那覇港を見ることができ、那覇港に入ってくる進貢船や異国船が見えると火を焚き、烽火をあげて首里王府に知らせていたそうです。ヒバンムイは首里王府への連絡手段としてとても重要な役割を果たしていたということが分かりました。

3.ヒージャーはいないよ!

ヒージャーガー

次に訪れたのは、ヒージャーガー(樋川井)です。ヒージャー



みんなのヒージャーガー

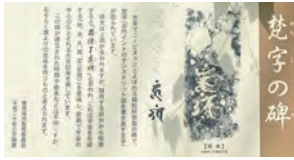
ガーは、出産直後に新生児を入浴させる際に使う湯、旧正月の若水をはじめとする生活用水や農耕馬の手入れなどに広く利用されていたそうです。戦前は左右に大小のカー(井戸)があり、左側の小さいカーはノロやカミンチュ専用で、右側の大きい方は住民が利用していたそうです。

4.古代インドのサンスクリット語の碑とスルメナー



梵字の碑

梵字というのは古代インドのサンスクリット語を書き表す文字のことです。そして、この壁に埋め込まれた字の形がサンスクリット語になっています。この碑が建てられた時期や由来など



梵字の碑

の情報は一切分かっていませんが、魔除けの意味を持つものと考えられているそうです。説明板を見ると、スピリチュアル系のおいがプンポン漂ってきま

梵字の碑から少し進んだ場所に、スルメナーがありました。スルメナーは地頭(じとう)と掟(つうち)の火又神を祀っているところ、集落を火事や火の災害から守るためにヒヌカンが設置されました。現在では一般家庭でもヒヌカンを祀って、毎月旧暦の一日と十五日に供物を供えて、一家の繁栄を祈っています。



珍しいスルメナー

5.フスミ御獄&フスミガー

フスミというのは、おへその意味で、宇豊見城集落内の中心に位置したこと、フスミ御獄・フスミガーと呼ばれるそうです。フスミガーとは井戸のこと、沖縄では一般的に井戸の周りには



大切にされてきたフスミガー

神様がいるといわれています。井戸は村の人々の生活を支えている、村全体で大切にしないと井戸が腐り、やがて井戸を使って生活している村の人々は死んで村もなくなるといふことがあるため、村の人々はとても井戸を大切にしていたそうです。

6.女性のお祈り場所と人々を救った嘉数さん(嘉数親雲上)のお墓

又ドウンチという素敵な史跡に巡りあいました。又ドウンチは、女性たちが村の安全などをお祈りする場所で、左側にノ口火又神、右側にはノ口神などの豊見城のムラ建てにまつわる人物の10個の香炉があります。

最後に、廻った史跡はみんなの命の恩人嘉数親雲上のお墓です。嘉数親雲上は農業に長けていて、座間味島からソテツの実を持ち帰り琉球王国の干ばつの時にソテツの栽培方法や食べ方を農民や王府に教え、人々を飢餓から救った天才ヒーローです。王府から褒美として「シマ(土地)を貰うか」と言われたそうですが、自分にはそれだけの力がないので、代わりに母のための墓が欲しい」と



又ドウンチの中身

言って墓を拜領したそうです。その時に「親雲上の位と「嘉数」という名字を賜ったそうです。



7.おわりに

今回、たくさんさんの史跡を巡ってみて更に歴史が大好きになりました。

1時間ほどで、宇豊見城の小さい区域で7つの史跡を巡りましたが、那覇や首里だけでなく私の身近な豊見城にも、琉球王国時代の史跡が多くあると知り驚きました。自分が普段通っていた道にも又ドウンチや、フスミガー、スルメナーなど石や井戸に宿った神様を拜む場所が多くあり、琉球の人々の生活にとって、神様に拜む行為は、生活の一部になっていたと知ることができました。



# 2022 年度決算について

※千円未満四捨五入

## 資金収支計算書

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	2,014,965	2,084,278	△ 69,313
手数料収入	35,801	31,121	4,680
寄付金収入	29,548	25,903	3,644
補助金収入	604,517	590,408	14,108
資産売却収入	85,191	892	84,298
付随事業・収益事業収入	36,523	38,172	△ 1,649
受取利息・配当金収入	1,308	1,582	△ 274
雑収入	63,690	63,727	△ 37
借入金等収入	108,000	37,460	70,540
前受金収入	950,940	907,820	43,119
その他の収入	52,013	58,054	△ 6,041
資金収入調整勘定	△ 1,011,007	△ 1,007,437	△ 3,569
前年度繰越支払資金	2,437,306	2,437,305	
収入の部合計	5,408,795	5,269,288	139,506

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,414,736	1,385,506	29,229
教育研究経費支出	964,254	920,873	43,381
管理経費支出	102,697	99,424	3,272
借入金等利息支出	9,176	9,339	△ 163
借入金等返済支出	85,700	71,600	14,100
施設関係支出	228,344	112,466	115,877
設備関係支出	72,478	64,552	7,926
資産運用支出	61,000	61,807	△ 807
その他の支出	67,986	83,328	△ 15,342
予備費	4,593	-	4,593
資金支出調整勘定	△ 23,677	△ 44,088	20,411
翌年度繰越支払資金	2,421,506	2,504,479	△ 82,973
支出の部合計	5,408,795	5,269,288	139,506

## 貸借対照表

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	5,795,474	5,782,285	13,189
有形固定資産	5,093,321	5,131,820	△ 38,499
特定資産	622,413	561,499	60,914
その他の固定資産	79,739	88,965	△ 9,226
流動資産	2,572,858	2,501,392	71,465
資産合計	8,368,332	8,283,677	84,655

負債の部・純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	1,100,165	1,126,058	△ 25,892
流動負債	1,174,733	1,177,224	△ 2,491
負債合計	2,274,899	2,303,283	△ 28,384
基本金	7,774,491	7,582,015	192,475
繰越収支差額	△ 1,681,058	△ 1,601,621	△ 79,436
純資産合計	6,093,433	5,980,394	113,039
負債及び純資産の部合計	8,368,332	8,283,677	84,655



# 2023 年度予算について

## 資金収支予算書

収入の部			
科目	本年度予算	前年度予算	増・減
学生生徒等納付金収入	2,050,000	2,014,965	35,035
手数料収入	34,263	35,801	△ 1,538
寄付金収入	27,600	29,548	△ 1,948
補助金収入	631,472	604,517	26,955
資産売却収入	85,010	85,191	△ 181
付随事業・収益事業収入	643	36,523	△ 35,880
受取利息・配当金収入	1,519	1,308	211
雑収入	7,842	63,690	△ 55,848
借入金等収入	50,000	108,000	△ 58,000
前受金収入	949,302	950,940	△ 1,638
その他の収入	54,619	52,013	2,606
資金収入調整勘定	△ 978,063	△ 1,011,007	32,944
前年度繰越支払資金	2,421,506	2,437,306	△ 15,800
収入の部合計	5,335,713	5,408,795	△ 73,082

支出の部			
科目	本年度予算	前年度予算	増・減
人件費支出	1,337,263	1,414,736	△ 77,473
教育研究経費支出	991,851	957,726	34,125
管理経費支出	108,398	102,697	5,701
借入金等利息支出	8,949	9,176	△ 227
借入金等返済支出	93,360	85,700	7,660
施設関係支出	57,282	228,344	△ 171,062
設備関係支出	122,458	63,601	58,857
資産運用支出	61,000	61,000	0
その他の支出	52,848	67,986	△ 15,138
予備費	15,000	20,000	△ 5,000
資金支出調整勘定	△ 75,242	△ 23,677	△ 51,565
翌年度繰越支払資金	2,562,546	2,421,506	141,040
支出の部合計	5,335,713	5,408,795	△ 73,082

経常的な収支バランス

臨時的な収支バランス

## 事業活動収支予算書

事業活動収支予算書 (単位 千円)				
科目	本年度予算	前年度予算	増・減	
			本年度	前年度
教育活動収入の部	2,050,000	2,014,965	35,035	
手数料収入	34,263	35,801	△ 1,538	
寄付金収入	27,600	29,548	△ 1,948	
経常費等補助金	631,472	604,517	26,955	
付随事業収入	643	36,523	△ 35,880	
雑収入	7,842	63,690	△ 55,848	
教育活動収入計	2,751,820	2,785,044	△ 33,224	
事業活動支出の部	1,359,337	1,489,330	△ 129,993	
人件費	1,191,521	1,171,104	20,417	
教育研究経費	115,976	108,773	7,203	
管理経費	2,666,834	2,769,207	△ 102,373	
教育活動支出計	84,986	15,837	69,149	
教育活動収支差額	77,556	7,969	69,587	
教育活動外収入の部	1,519	1,308	211	
受取利息・配当金	0	0	0	
その他の教育活動外収入	1,519	1,308	211	
教育活動外収入計	8,949	9,176	△ 227	
事業活動外収入の部	0	0	0	
借入金等利息	0	0	0	
その他の教育活動外支出	8,949	9,176	△ 227	
教育活動外支出計	△ 7,430	△ 7,868	438	
教育活動外収支差額	77,556	7,969	69,587	
経常収支差額	15,000	20,000	△ 5,000	
特別収入の部	1,774	4,246	△ 2,472	
その他の特別収入	1,774	4,246	△ 2,472	
特別収入計	46,509	47,364	△ 855	
事業活動支出の部	46,509	47,364	△ 855	
資産処分差額	△ 44,735	△ 43,118	△ 1,617	
特別支出計	17,821	△ 55,149	72,970	
特別収支差額	0	△ 117,338	117,338	
(予備費)	17,821	△ 172,487	190,308	
基本金組入前当年度収支差額	△ 1,774,108	△ 1,601,621	△ 172,487	
基本金組入額合計	7,449	0	7,449	
当年度収支差額	△ 1,748,838	△ 1,774,108	25,270	
前年度繰越収支差額	2,755,113	2,790,598	△ 35,485	
翌年度繰越収支差額	2,737,292	2,845,747	△ 108,455	

教育事業での収支

教育事業外の収支



## News &amp; Topics

2023  
5/18 **クッキングサークル製作「蜂蜜&シーク  
ワーサーゼリー」配布イベント開催!**

クッキングサークルは、自分たちでレシピを考案し学園祭や入学式でお菓子配付等の活動しています。今回は沖縄大学本館屋上で養蜂し、採れた蜂蜜を使って、蜂蜜&シークワーサーソフトゼリーづくりに挑みました。蜂蜜の味を生かし、何を作るか、試行錯誤を重ねて完成させたソフトゼリーは初夏のこの時期にピッタリな爽やかな逸品に仕上がりました。

2023  
5/29 **那覇市議会との包括連携協定締結「市政の  
課題に関する調査研究等への連携協力」**

沖縄大学と那覇市議会は、より良い社会の実現に向けて共に地域の課題に取り組むべく包括連携協力に関する協定書、締結式を行いました。

本協定では、政策立案の能力強化や調査研究、人材育成面からの学生のインターンシップ派遣等、より強固な協力体制を進めていくことが目的となっています。

2023  
6/12 **報道写真家 石川文洋さん  
「命の大切さ、繋げることの大事さを語る」**

「社会人類学入門」と「キャリアデザイン入門」2つの講義では報道写真家の石川文洋さんをお招きしての特別講義が行われました。

現在85歳で現役の報道カメラマン石川文洋さんは、戦場カメラマンとしてベトナムやカンボジア、ラオス、アフガニスタン等世界各地の戦場を撮影されてきました。

講演で石川さんは、「一番大切なのが命、命を繋げることがとても大事なことである。戦争は一度にその命を奪うもの、戦争は止めていかないとけない。戦争を経験してなくても想像することはできる」と日本の在り方や世界の在り方を学生たちに問い続けました。また、台湾有事の際には、沖縄が多大な影響を受けかねないと危惧し、沖縄は平和を創っていく島であってほしいと語りました。

2023  
4/13 **『戦(いくさ)のない時代を歩むために』  
牛島貞満氏講演**

須藤義人先生(人文学部こども文化学科教授)の講義「こどもと宗教」のゲスト講師として、牛島満第32軍司令官の孫にあたる牛島貞満氏を迎え、ご講演いただきました。牛島さんは沖縄に古くから継承されてきた「命(ぬち)どう宝=命こそ宝」の考えに価値があり、命より重い大義はないこと、戦争を起こさないためにも、記録・証言に基づく記憶の継承と歴史認識が大事であり、それが平和への創造力の源になると学生たちに伝えていました。

また6月10日に開催された第598回沖縄大学土曜教養講座においても「非戦への誓い—沖縄戦の『記憶の継承』による共創と教育」をテーマにパネリストとしてご登壇いただきました。

2023  
4/21 **管理栄養学科子ども食堂サポートチーム  
審査委員特別賞を受賞**

今回表彰された活動は、2020年から新垣慶子先生のゼミ生を中心に、那覇市内の子ども食堂と連携し、お弁当の無料配布や手軽につくれるレシピの考案、そして普及活動等、食の面から子どもたちのサポートを行ってきたものです。6月24日には第7回食育活動表彰式(富山県)に参加し、表彰を受けました。

また、6月9日BSよしもとのニュースショー「ワシんとこ・ポスト」にて、活動内容が紹介され、メンバーを代表して健康栄養学部管理栄養学科4年の島袋涼佳さんと津波古美桜さんがリモート出演しました。

2023  
5/15 **新入生歓迎スポーツ大会 4年ぶりに開催**

新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催となる本大会には46チーム、約720名の学生及び教職員が参加しました。

ドッチビー(ディスクドッチ)と呼ばれる、ボールの代わりに柔らかいディスクを使った競技を行い、優勝はこども文化学科上原ゼミ(専門演習a)、準優勝は経法商学科成定ゼミ(問題発見演習1)が果たしました。

2023  
5/16 **韓国・龍仁大学校と沖縄大学  
連携協定調印式**

龍仁大学校は、武術学部、スポーツ科学学部、芸術文化学部、AI融合学部、産業保健福祉学部の5学部30学科が設置されていて、多くのオリンピック選手を輩出している大学です。今後、本学と学生の相互派遣や、教育・研究上において学術交流を図る予定です。





# News & Topics

2023

## 6/15・7/21 「OKIDAI THE 職人倶楽部」

沖縄で活躍する人のビジネスストーリーを伺い、人生100年時代を生き抜く教養や術を身につけるきっかけにと企画している講演会。第4回目(6/15)の講師は、豊見城市でケーキ工房を営んでいるパティシエの仲西竜太郎さんをお招きしキャリアについてや材料や食へのこだわりについて、お話をいただきました。



第5回目(7/21)の講師には、元琉球朝日放送アナウンサーで、現在はフリーアナウンサーとして県内外で活躍されている、宮城さつきさんをお招きし夕方のニュース番組のキャスターを勤めドキュメンタリー番組も多く手掛けてきたお仕事のお話や朗読もご披露いただきました。



## 沖縄大学保護者懇談会のご案内

学生支援課では保護者懇談会を通じて、学生の学業や学生生活などについて教職員と保護者の個別面談を実施し、保護者の皆様と連携を密にしながら、きめ細かな学生支援を行って参りたいと考えております。参加ご希望の方は郵送された文書内に記載のQRコードからの申込、メール、電話等で申込みを行って頂きますようご案内申し上げます。尚、台風等で中止になる場合がございます。その際は大学ホームページでお知らせいたしますのでご確認ください。

### 日程及び会場一覧

- <久米島会場> 9月 1日(金) 【EN Resort イブ・ホテル】  
久米島町字謝名堂 548 (☎ 098-985-7111)
- <宮古会場> 9月 6日(水) 【ホテル・オールエメラルド 宮古島】  
平良市字下里 108-7 (☎ 0980-73-9800)
- <八重山会場> 9月 7日(木) 【南の美ら花ホテルミヤヒラ】  
石垣市美崎町 4-9 (☎ 0980-82-6111)
- <北部会場> 9月12日(火) 【名護中央公民館】  
名護市港 2-1-1 (☎ 0980-53-5428)

※上記4会場については、**面談時間：18:00～19:00**

- <中南部会場> 9月16日(土) 【沖縄大学】  
那覇市国場 555 (☎ 098-832-7182)
- 経法商学科 13:00～14:30
- 国際コミュニケーション学科 15:00～16:30
- 福祉文化学科 15:00～16:30
- こども文化学科 15:00～16:30
- 管理栄養学科 15:00～16:30

※中南部会場は学科によって  
面談時間が異なります。

## 沖縄大学への寄附について

沖縄大学は、地域に根差し慕われる大学として、社会ニーズに応える有為な人物を育成するために、教育研究環境等の整備・充実に取り組んでいます。ご支援をお考えいただける方は、ぜひ経営企画室までご連絡をお願いいたします。沖縄大学のさまざまな活動において大きな力となっています。

問い合わせ先 メール：keiei@okinawa-u.ac.jp FAX：098-832-0083  
〒902-8521 沖縄県那覇市字国場 555 番地 沖縄大学経営企画室 宛

## 2023年度寄附活動 新たな取り組み

4月からは創立65周年を記念して、寄附返礼品を用意しました。3つのギフトからおひとつをお選びください。(詳しくは、本学ホームページをご確認ください。)



OKIDAI HONEY (限定88個)



謝花きっぱん店「冬瓜漬」



南の島恵み農園「青い塩」

2023

## 6/29 「スポーツに正解はない！」特別講義 元プロ野球選手 上原浩治さん

福祉文化学科健康スポーツ福祉専攻の合同ゼミでは、元メジャーリーガーで現在野球解説者として活躍中の上原浩治さんをお招きしての特別講義が行われました。高校時代はレギュラーに選ばれずプロ野球選手を目指していなかったことやその後の浪人時代の話、体育教師を志していた大学時代のこと、プロになってからの上原さんのお話に、学生たちは真剣に耳を傾けていました。



講演の最後に上原さんは「後悔だけはしてほしくない。過去は変えられないからどんどん前へ進んでいくことが大切」と学生たちにエールを贈ってくれました。



上原さんにお話頂いた内容は沖縄大学Webサイト、「17歳へ」企画でご覧いただけます！

2023

## 7/22 第2回オープンキャンパス開催

今回は「大学の学びを体験してみよう！」をテーマに、500名近くの高校生や保護者に来場頂きました。ミニ講義の開催や在学生による入試体験談、また学生生活を紹介する内容で、沖縄大学の雰囲気や体感できるイベントとなりました。



今年度のオープンキャンパスは終了となります。今回参加できなかった方は、地域別個別相談会や個別相談も随時行っています。ご希望の方は、入試広報室までご連絡ください。



地域	開催日	時間	会場
中部	8月31日(木)	15:00-19:00	うみんちゅワーフ (2階:会議室)
久米島	9月1日(金)	15:30-18:00	久米島町複合型防災・地域交流センター ほんのもり
宮古	9月6日(水)	16:30-18:30	ホテルアールエメラルド 宮古島(2階:港の間)
石垣	9月7日(木)	16:30-18:30	南の美ら花ホテルミヤヒラ (2階:フクギの間)
北部	9月12日(火)	16:30-18:30	名護中央公民館 (1階:第3研修室)
南部	9月16日(土)	15:00-17:30	沖縄大学キャンパス (本館1階 学食)